

●●●2023年1月～3月期 栃木県中小企業景況調査(175回)●●●

【栃木県D I 指数天気図】

今期(県内全体)の業況



D I 値
-16.5
※全国 -13.7

業況

県内全体の業況(DI値)は、前期(10-12月期)より8.7ポイント改善し-16.5ポイント、全産業においても改善がみられる。

材料仕入単価は、製造業で69.0ポイント、建設業で65.0ポイント、小売業で77.0ポイント、サービス業で80.0ポイントと高止まりし、経営上の問題点として全産業の1位にあげられており、引き続き高止まりが続く見込みである。

来期は、建設業が5.7ポイントの悪化となる見込みであるが、小売業は横ばい、製造業、サービス業では改善が見込まれる。特に製造業では10ポイント以上の改善となる見込みであり、県内全体の業況も2.9ポイントの小幅な改善となる見込みである。

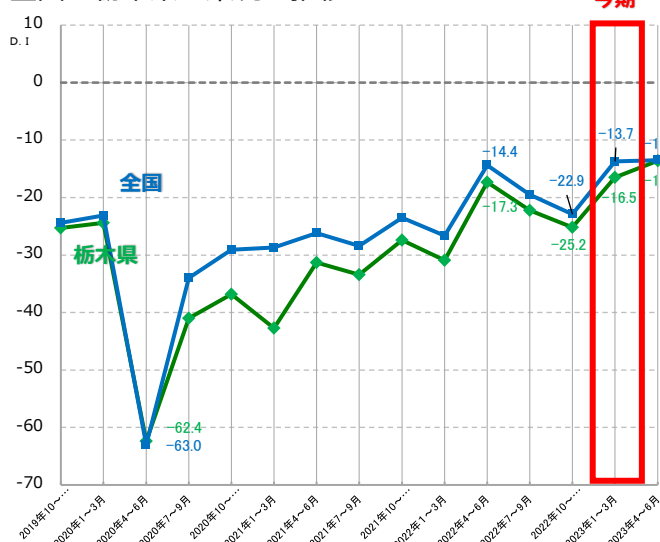
～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
D I 値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

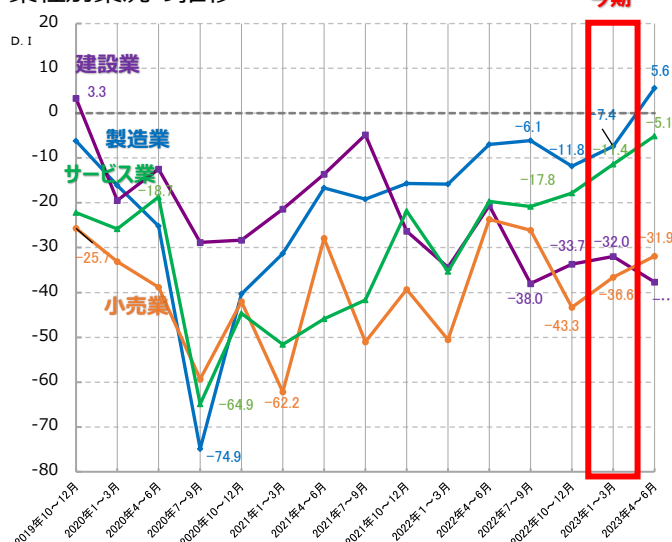
業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り	来期予想(全体)
製造業							
	D I 値	-7.4	0.0	69.0	-26.6	-23.4	5.6 (↗)
業況：前期から4.4ポイント改善、来期は売上額が大幅な改善となる見込み							
建設業							
	D I 値	-32.0	-55.0	65.0	-25.0	-15.8	-37.7 (↘)
業況：前期から1.7ポイント改善、来期は5.7ポイント悪化も仕入単価は改善傾向							
小売業							
	D I 値	-36.6	-30.0	77.0	-50.0	-42.5	-31.9 (→)
業況：前期から6.7ポイント改善、来期も4.7ポイント改善の見込み							
サービス業							
	D I 値	-11.4	-1.6	80.0	-55.0	-13.5	-5.1 (↗)
業況：前期から6.4ポイント改善、来期は全項目が改善の見込み							

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

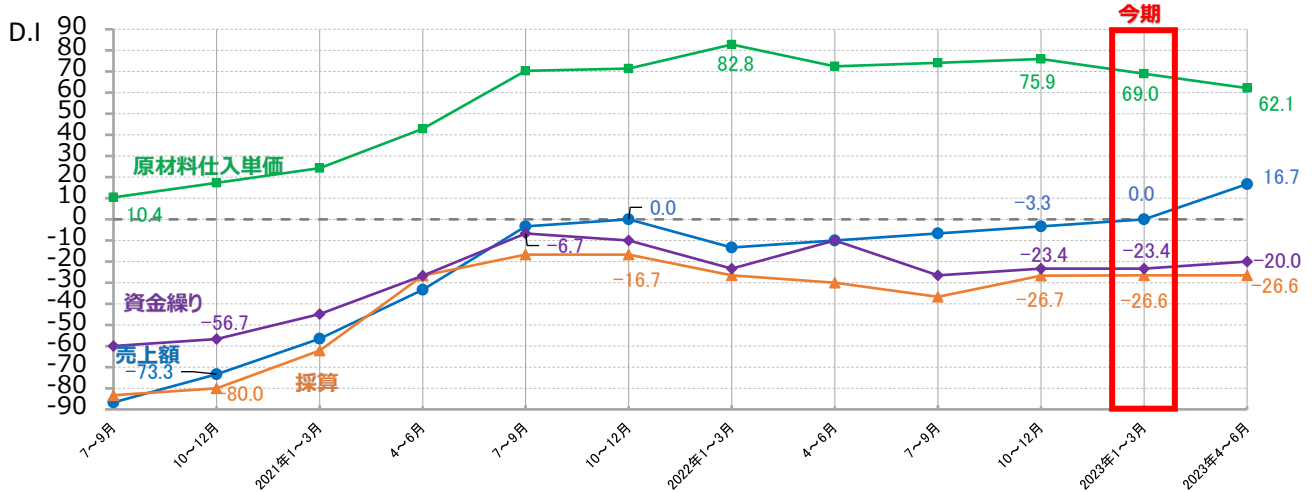


業種別業況の推移



製造業

「売上額が4期連続の改善、来期も大幅な改善の見込み」

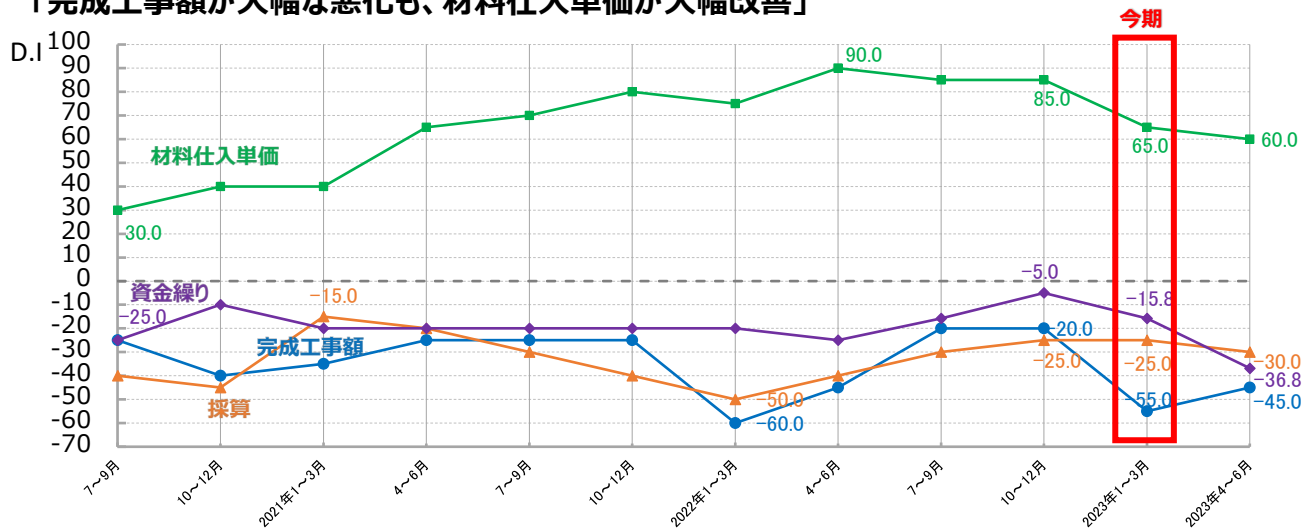


前期に3.4ポイント (-6.7→-3.3) の改善となった「売上額」は今期も3.3ポイント (-3.3→0.0) と小幅な改善となり、4期連続の改善となった。来期は16.7ポイント (0.0→16.7) の大幅改善の見込みである。前期まで悪化傾向であった「原材料仕入単価」は、6.9ポイント (75.9→69.0) の改善となり、来期も同幅の改善 (69.0→62.1) となるものの、高止まりが続く見込みである。「資金繰り」は横ばいとなり、来期は3.4ポイント (-23.4→-20.0) と小幅の改善となる見込みである。前期に10.0ポイントの大幅改善となった「採算」は横ばい (-26.7→-26.6) となった。来期においても横ばいとなる見込みである。

- 【経営上の問題点】
- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 第1位：原材料価格の上昇 (39.0%) | 第2位：需要の停滞 (26.0%) |
| 第3位：従業員の確保難 (9.1%) | 第4位：原材料費・人件費以外の経費の増加 (6.5%) |

建設業

「完成工事額が大幅な悪化も、材料仕入単価が大幅改善」

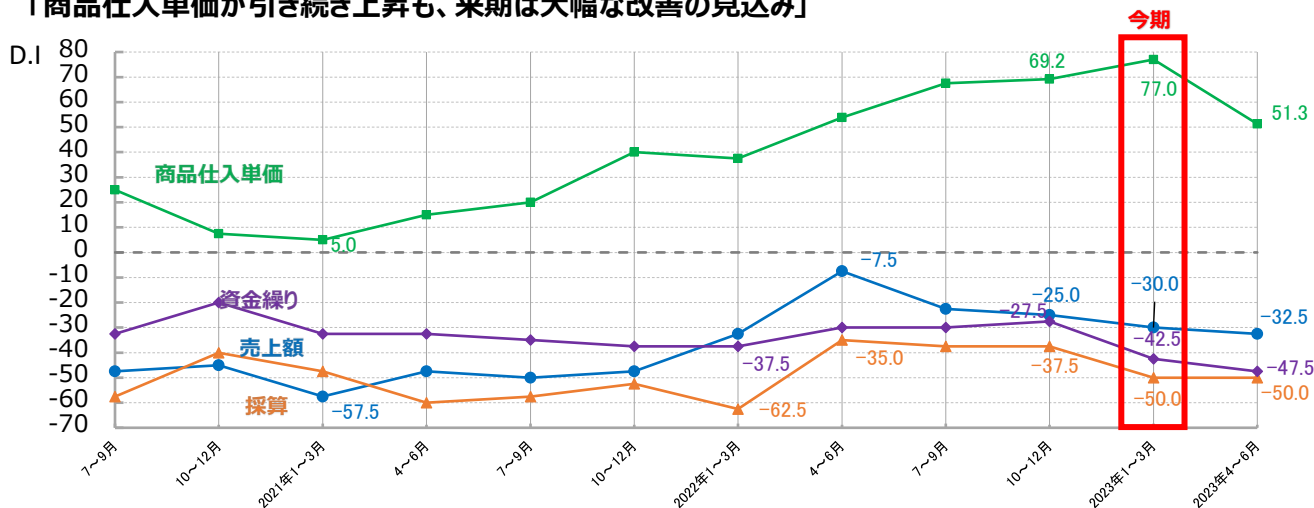


前期まで改善傾向にあった「完成工事額(売上額)」は、35.0ポイント (-20.0→-55.0) の大幅悪化となるものの、来期は10.0ポイントの改善が見込まれる。高止まりの続いていた「材料仕入単価」は20.0ポイント (85.0→65.0) と大幅な改善となった。来期も5.0ポイント (65.0→60.0) の改善となる見込みである。前期まで改善傾向にあった「資金繰り」は10.8ポイント (-5.0→-15.8) と大幅悪化となり、来期は21.0ポイントと今期よりも更に悪化となる見込みである。「採算」は横ばい (-25.0→-25.0) となるも来期は-5.0ポイントの悪化となる見込み。

- 【経営上の問題点】
- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 第1位：材料価格の上昇 (41.7%) | 第2位：従業員の確保難 (25.0%) |
| 第3位：大企業の進出による競争の激化 (11.1%) | 第4位：民間需要の停滞 (5.6%) |

小売業

「商品仕入単価が引き続き上昇も、来期は大幅な改善の見込み」



前期に引き続き「商品仕入単価」は、7.8ポイント（69.2→77.0）の上昇となった。来期は25.7ポイント（77.0→51.3）と大幅な改善も、高止まりとなる見込みである。

「売上額」は5.0ポイント（-25.0→-30.0）の悪化となった。「採算」は12.5ポイント（-37.5→-50.0）の悪化となり、「資金繰り」も15.0ポイント（-27.5→-42.5）の大幅な悪化となった。

来期は「売上額」が2.5ポイント（-30.0→-32.4）の減少、「採算」は横ばい、「資金繰り」は5.0ポイント（-42.5→-47.5）の悪化と全体的に悪化となる見込みである。

【経営上の問題点】 第1位：仕入単価の上昇（26.2%）

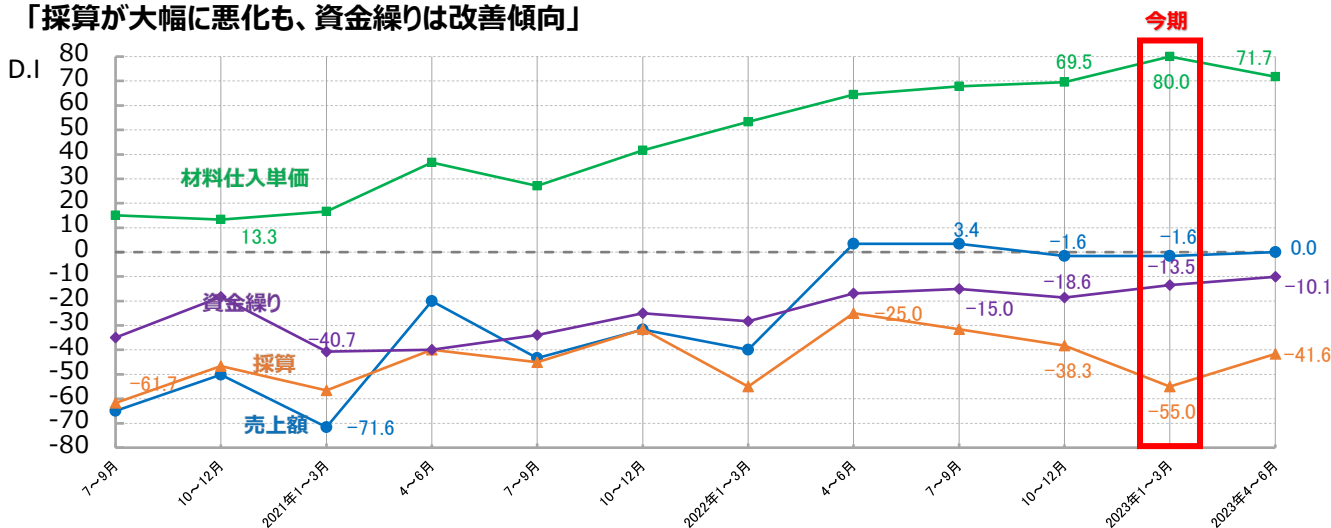
第2位：消費者ニーズの変化への対応（13.1%）

第3位：需要の停滞（13.1%）

第4位：販売単価の低下・上昇難（9.8%）

サービス業

「採算が大幅に悪化も、資金繰りは改善傾向」



「採算」は16.7ポイント（-38.3→-55.0）の大幅な悪化となった。来期は13.4ポイント（-55.0→-41.6）の大幅な改善が見込まれるが、引き続き厳しい状況である。

「資金繰り」は5.1ポイント（-18.6→-13.5）の改善となった。来期は3.4ポイント（-13.5→-10.1）の小幅な改善が見込まれ上昇傾向にある。「材料等仕入単価」は、10.5ポイント（69.5→80.0）と大幅に悪化となった。来期は8.3ポイント（80.0→71.7）改善するも、高止まりが続く見込みである。「売上額」は横ばいとなり、来期も1.6ポイント（-1.6→0.0）の横ばいとなる見込みである。

【経営上の問題点】 第1位：材料等仕入単価の上昇（35.5%）

第2位：人件費以外の経費の増加（14.0%）

第3位：利用者ニーズの変化への対応（9.7%）

第4位：店舗施設の狭隘・老朽化（8.6%）

調査要領

○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

○調査対象地区（栃木県商工会地区）

下野市・粟野・足尾町・益子町・茂木町

小山市おもいがわ・岩舟町・喜連川・那須塩原市・足利市坂西

○調査時点

2023年3月1日

○調査対象期間

2023年1月～3月期の実績及び、2023年4月～6月期の見通しについて調査

○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.0%
建設業	20	13.3%
小売業	40	26.7%
サービス業	60	40.0%
合計	150	100.0%

※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

次の100年も
ここに商工会

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875